

リバティヒルクラブ
メンバー限定セミナー



第18回 美容医療セミナー

目元治療のスペシャリストによる

加齢にともなう目もとのたるみ

—原因と症状、治療—



加齢によるたるみ・シワは、誰にでも起こる悩みの一つです。特にまぶたのたるみは視界が狭くなったり、疲れて見えるなどの印象を与えてしまう重要なパーツの一つです。

第18回を迎える今回のセミナーでは、前福岡大学医学部形成外科教授の大慈弥裕之医師による、目元のたるみ・シワの原因と、その解決方法について講演いただきます。

NPO法人自由が丘アカデミー代表理事／北里大学形成外科・美容外科客員教授

大慈弥 裕之

2023年

5月5日(金)
13:00~14:00

場所

医療法人社団 喜美会

自由が丘クリニック

〒152-0023 東京都目黒区八雲3-12-1-4F

お問い合わせ

自由が丘クリニック

Phone. 03-5701-7400

自由が丘クリニックは、大学病院で行われる「チーム医療」の発想のもとに、美容形成外科手術をはじめ、レーザーや注射などの非手術療法などの多分野において、それぞれの領域で高い知識と経験を持つ専門のドクターを集めた「美と健康の総合クリニック」です。

■主催：一般社団法人美容予防医療研究会

第18回 美容医療セミナースケジュール

『加齢にともなう目もとのたるみ —原因と症状、治療—』

演者紹介



大慈弥 裕之 (おおじみ ひろゆき)

福岡大学医学部卒業・医学博士 / PO法人自由が丘アカデミー代表理事 / 北里大学形成外科・美容外科客員教授

眼瞼下垂の他に、抗加齢医学、小児形成外科、創傷治癒、マイクロサージャリーによる乳房再建術を研究テーマとしており、一般社団法人日本美容外科学会(JSAPS)の理事長、一般社団法人日本形成外科学会理事も務めた、形成外科・美容外科の第一人者。現在、診察の他、安全・安心な美容医療を提供するためのガイドライン策定と啓蒙活動に尽力している。

1981年 北里大学医学部形成外科、1985年 神奈川県立こども医療センター、1999年 米ブリガム・アンド・ウィメンズ病院留学、2005年 福岡大学病院形成外科・美容外科教授、2007年 同医学部形成外科学講座主任教授、2015年 福岡大学副学長、2020年 自由が丘クリニック眼瞼下垂外来主任 / 日本美容外科学会(JSAPS)理事長、日本形成外科学会評議員

■ 抄録

日本人を含む東洋人というのは、年齢を重ねることでまぶた周辺にたるみが生じやすいといわれています。一方で西洋人は比較的目がぱっちり開いたまま老化が進んでいきます。

目もとのたるみは、疲れて見える、老けて見えるなど、容貌や表情を変化させるとともに、視野を妨げ、頭痛・肩こりを引き起こす原因ともなります。目もとのたるみ治療は、形成外科領域でも相談がたいへん多い症状です。しかし、慎重に行わないと左右の目の大きさが違ってしまふという、思わぬトラブルも、時として起こる場合もある繊細な治療です。

今回はたるみが起こる原因と、保険治療と美容外科治療(自費)との違い、眼瞼形成手術の効果と限界、リスクも併せてご紹介します。

会場・プログラム

■ 会場 / 医療法人社団喜美会 自由が丘クリニック 4Fセミナー室

〒152-0023 東京都目黒区八雲3-12-10
Phone. 03-5701-7400 www.jiyugaokaclinic.com

■ 日時 / 2023年5月5日(金) 13:00~14:00(開場12:50)

*当日は自由が丘クリニックが診療日のため、駐車場の用意がございません。誠に申し訳ございませんが、お車でご来場の場合は、近隣のコインパーキング等に駐車をお願いいたします。

■ 参加費 / 無料 ■ 定員 / 25名(先着順)

■ お申込方法 / FAX:03-5731-5732または2階ジムエリア (リパティヒルクラブ)

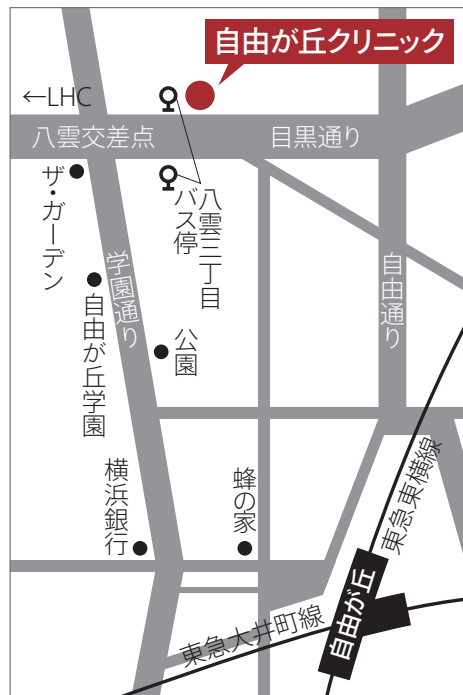
*以下にご記入のうえ、FAXまたは2階ジムエリアにてお申込ください。(5月1日まで)

お名前 _____ お電話 _____

ご住所 _____

■ プログラム

13:00	開会のご挨拶	大慈弥 裕之
14:00	加齢にともなう目もとのたるみ —原因と症状、治療— 質疑応答	



*東急大井町線・東急東横線自由が丘駅より徒歩約10分・八雲交差点近く *東急・都営バス「八雲3丁目」バス停すぐ前



ご参加いただいた方全員にプレゼント

磁気刺激により、30分座っているだけで5万回の筋肉運動を行い下半身を鍛える『スターフォーマー』をお受けいただけます。

5分体験
プレゼント